

お元気ですか



旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863
kasagi@potato.hokkai.net

秋の夜長の月あかり

風は黄金色、木々は紅葉。成熟の秋をいかがお過ごしでしょうか。かおる通信64号をお届けします。ご高覧賜れば幸いです。

旭川市議会議員

笠木かおる



「笠木かおる杯」は雨のため、途中中止に。

8月24日、パークランド嵐山で第13回笠木かおる杯親睦パークゴルフ大会が開かれました。今年も417名の皆さまがエントリーしたメジャー大会です。しかし、開会式を終えた頃から雨足が速くなり、遠くでは雷がゴロゴロ。万一のことを考え、途中中止の判断をしました。「時にはお天道様も意地悪になる」と思う、思い出に残る大会でした。



「夢と個性と情熱」。夏の夕べであいさつ。

夢を囲む

恒例の「笠木かおる・夏の夕べ」が7月30日、旭川トーヨーホテルで開かれました。笠木かおる連合後援会(山川博千会長)の主催。会場には680名の皆さまにお願いしたたぎ、今年も超満員。皆さまに感謝して、「生活のなかでの声を拾い集めて西川市政に伝える」と決意を述べさせてくださいました。経済に強く、人に優しい旭川のまちづくりに全力を尽くしてまいります。



伊達火力発電所を視察



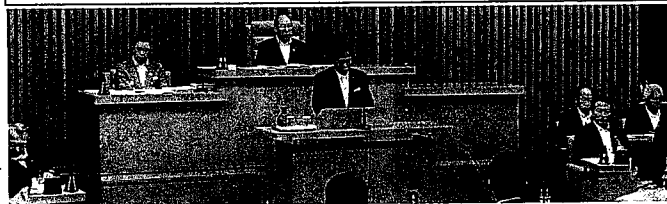
8月6日、伊達火力発電所を視察しました。70万キロワットを出力し、北海道の電力需要に応えています。泊原発の運転休止以降、火力発電がなければ北海道は電力不足に陥っていたとのこと。風力や太陽光、バイオマスなども今後、益々重要な役割となっていきます。

総合型地域スポーツクラブネットワーク

旭川市内の5つの総合型スポーツクラブが8月1日、ネットワーク会議を設立しました。クラブ間のつながりを強化して、活動と魅力のアップを図ろうとするものです。スポーツ大好き人間の自分として、とても光榮に思いながら、激励のあいさつをしました。



都心部の活性化を求める。



9月26日、旭川市議会本会議で一般質問にたち、都心部の活性化対策について旭川市の考えをいただきました。

今年11月には緑橋通りと神楽を結ぶクリスタル橋が開通。今年度中に駅前広場の整備も完成予定です。平成27年春のオープンをめざしイオンモールJ R旭川店の建設も急ピッチで動き出しています。

相乗効果と回遊性を高め都心部全体の活性化をいかに図れるかが、いま、旭川市の大切な課題です。イオン駐車場の市民開放など、中心部の賑わい創出に向け、イオンモールに具体的な協力を求めることが必要となっています。

富山県人会



大正10年、富山県下新川郡から開拓民として東旭川町に入植。自分は、「開拓3世」です。8月20日、旭川富山県人会(麻生繁会長)の総会・懇親会があり参加しました。語ることなく、県人会という空間にいてだけで友情の絆を感じる、不思議な時間を過ごしました。

公共工事の入札不調の対策を。

また、一般質問では、公共工事の入札不調について、旭川市の今後の対応をいただきました。

下請け企業の職人さん達の人手不足、資材や機械の値上げに伴い利益が見込めない等が原因で、公共工事の応札を見送る事態が発生しています。技能職人の育成や実勢価格の機動的な把握を旭川市に求めるとともに、予定価格の内訳公表、設計変更や工期の延長にも柔軟に対処すべきと指摘しています。



共生園・第3期工事が順調にスタート



7月10日、社会福祉法人・旭川共生会、第3期工事の地鎮祭でした。特養ユニット型30床の増床で、来春のオープンをめざしています。法人設立から13年。この間、お世話になった方々を思い出しながらの、心静かな神事でした。

共生園増床・来春オープン介護職員を大募集

詳細はお電話でご確認ください(電話 33-8000 番 担当/北)



【近況】自宅は太志くん、匡志くん、ひなたちゃんに占領された状態。ケンカしたり遊んだりの孫たちですが、元気にあいさつはできています。ワンパクに育ってほしいと願いながら、成長をみえています。

市役所機構の改革をたしました。



9月26日の本会議一般質問で、市役所の機構改革についてたしました。新たな行政需要に応え、来年4月に改革が行われます。市長部局に「防災安全部」を配置し、市民生活の安心・安全を守るための専担部署が整備されます。

また、スポーツ課が教育委員会から市長部局に移管され、地域振興とスポーツ振興が一体的にすすめることになります。

平成24年度決算を審査



平成24年度の決算審査等を主な議題とする第3回定例会は25日間の会期を終え、10月11日に閉会しました。決算審査で私は、旭川市役所の情報システム改善などについて質問にたちました。旭川市役所に導入されているコンピュータシステムは134本。24年度の情報化関連決算額は約15億円です。コスト意識を持ちながら、地場の情報産業の育成支援を重視した改革が必要との視点での質疑でした。



全日通退職者会



7月26日から全日通退職者会（山川博千会長）の新十津川・旅行会に参加し、1泊2日で懇親を深めました。パークゴルフのあとは、ゆっくりのんびりと温泉につかり、良き先輩たちと楽しい、つかの間の2日間を過ごしました。



母校・旭商に帰る。



7月7日、母校・旭商高校の伝統行事、生徒実習販売会に顔をだしました。昭和8年から行われているもので、商品選びから仕入れ、販売までを全生徒が行う行事。「いかがですか、ありがとうございます」と、元気な笑顔の後輩をみて、心から拍手をおくる自分でした。

町内会の資源回収に参加しました。

住まいする豊岡東部中央町内会（杉下政秀会長）の資源回収が9月15日、雨降りの中、行われました。軒先にだしてある、綺麗にまとめた新聞紙や雑誌。これこそが町内会の絆と思い、一生懸命に回収のお手伝いをしました。



発信ランド桜岡・ひよっこ踊り



旭川発信ランド桜岡でこのほど、「ひよっこ踊りの会」がありました。「笑う門には福来る」と思い、私も飛び入り参加。腰の使い方がなかなか難しく、恥ずかしく思いながらも最後まで踊りました。踊る会員が広がればと願っています。

豊田・田んぼアートに出展しました。

稲穂が伸びる8月、東旭川町豊田のおにぎり茶屋「アトリエharemi」で、田んぼ写真展が開かれ、自分も一枚の写真を出展しました。空と風と稲のど真ん中に展示された写真群は、のどかな風に揺られ、訪れた皆さんを歓迎していました。



清掃ボランティアに参加しました。



㈱生活プロデュース(神幸博代表)が呼びかけた清掃ボランティアによる地域貢献活動に参加しました。同社設立7周年を記念したもので、9月8日に豊岡の環状線のゴミ拾いを実施。空き缶やタバコの吸殻などをビニール袋に回収しました。



旭川神社・抜穂祭



9月21日、旭川神社の抜穂祭(ぬいぼさい)に参加しました。このお祭りは古来から伝わるそうで、鋭い鎌がない時代、稲の穂を抜いていた時からのお祭りだそうです。「東に望む旭岳 青空高し旭川 みのり豊けき兵村の 今日ほめでたい抜穂祭」との歌響きに、少年時代を回想していました。



中国ハルピン市の中学生が来旭しました。



友好都市のハルピン市から中学生10人が旭川市を訪問しました。10月3日には、引率の先生たちの歓迎会が開かれました。(写真)近い将来、旭川市とハルピン市の架け橋となる中学生。

来年は、旭川市からハルピン市に中学生が訪問できればと思いつつ、歓迎会結びのあいさつをさせていただきました。



敬老祝賀



9月は多くの敬老祝賀会にご案内をいただきました。日本の平均寿命は男性79歳、女性86歳と、世界一の長寿大国です。旭川市内でも現在、100歳以上の方は141人。「旭川で長生きして本当によかった」と、実感できる街づくりに、これからは精進します。

私たちの仕事は、24時間、365日の毎日が「敬老の日」です。



irozuki

長女・亜以がこのほど、1条14丁目左10号に「irozuki」というお店をオープンさせました。雑貨やオーガニック商品を扱い、個性的なお店を創ろうと、心がけているようです。